

2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

目 次

P1～P3……	法人の概要
P4～P5……	事業の概要
P6～P7……	湊川短期大学事業報告
P8～P9……	三田松聖高等学校事業報告
P10………	湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P11………	湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P12………	湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P13………	湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P14………	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P15………	湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
P16………	湊川短期大学附属ぽるとこども園事業報告
P17………	財務の概要
P18………	2019年度財務報告
P19～P20…	過去5ヵ年の財務推移表
P21～P23…	2019年度決算報告グラフ他分析資料

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学の教育は、校祖幸田たま女史の何事にもくじけぬ不屈の精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い徳性と健全な心身を備え、新時代に即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲のもと、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を錬磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(9) 湊川短期大学附属ぽるとこども園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目3番1号2階

4 役員・評議員の概要

【役員】定数 9人以上11人以内

監事 2人

理事長(常) 浅井 祐子 H.19.4.1

監 事(非) 下山隆一郎 H.13.4.1 税理士

常務理事(常) 山野上素充 H.25.4.1

監 事(非) 木 寅 文 雄 H.25.4.1 無職

常任理事(常) 堀 忍 H.17.4.1 法人事務局長

(2名)

常任理事(常) 末 本 誠 H.28.4.1 短期大学長

常任理事(常) 則 木 豊 丈 H.27.4.1 高等学校長

常任理事(常) 原口富美子 H.24.4.1 附属幼稚園長

理 事(非) 柳 田 昌 三 H.13.4.1 無職

理 事(非) 小 室 烈 生 H.14.4.1 無職

理 事(常) 大 前 衛 H.18.4.1 短期大学教授

理 事(非) 仁 木 照治 H.31.4.1 会社役員

理 事(非) 正 岡 泉 H.31.4.1 会社顧問

(11名)

【評議員】定数 19人以上25人以内

評 議 員 浅井 祐子 H.15.4.1

評 議 員 大 前 衛 H.1.4.1

評 議 員 山野上素充 H.25.4.1

評 議 員 金澤 敦 夫 H.29.4.1 短期大学事務局長

評 議 員 堀 忍 H.13.4.1

評 議 員 川 崎 宏 紀 H.27.4.1 高等学校教頭

評 議 員 末 本 誠 H.28.4.1

評 議 員 藤 原 智 H.27.4.1 高等学校教頭

評 議 員 則 木 豊 丈 H.25.4.1

評 議 員 藤本まり子 H.21.8.1 同窓会長

評 議 員 大前成美 H.25.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 稲 山 悟 H.29.4.1 地方公務員

評 議 員 大西清志 H.31.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 喜 多 弘 樹 H.29.4.1 会社員

評 議 員 大前通代 H.26.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 柳 田 昌 三 H.9.4.1 無職

評 議 員 原口富美子 H.14.4.1

評 議 員 田 仲 正 之 H.14.4.1 無職

評 議 員 中 井 重 樹 H.26.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 高 尾 裕 子 H.21.4.1 無職

評 議 員 馬 越 美 佳 H.27.4.1 附属保育園長

評 議 員 中 田 初 美 H.29.4.1 NPO法人副理事長

評 議 員 大西則夫 H.17.4.1 法人総務部長

評 議 員 小 室 烈 生 H.14.4.1 無職

評 議 員 舟 本 康 弘 H.31.4.1 高等学校事務室長

(25名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	50	130	81	13	23	7	2
幼児教育保育学科	100	200	170	13	19	10	5
専攻科健康教育専攻	10	20	8				
専攻科幼児教育専攻	10	20	9				
合 計	170	370	268	26	42	17	7

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
総 合 コ ー ス							
特 進 コ ー ス							
合 計	270	810	890	61	7	11	2

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		200	15	9	0	2
神 陵 台 幼 稚 園	62		156	14	7	0	2
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		243	19	19	1	1
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		261	16	13	1	1
北 摂 学 園 幼 稚 園	85		139	11	14	0	0
合 計	427		999	75	62	2	6

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	81	19	5	2	6
ぽるとこども園		19	19	8	4	0	0
合 計	15	89	100	27	9	2	6

※ 学生・生徒・園児・教職員数2019年(令和1年5月1日現在)

2

事業の概要

(1) 2019年度の主な事業

(法人)

相野荘敷地内CATVポール撤去・新築工事	239,026	わくわくハウスオーギノ
----------------------	---------	-------------

(短大)

記念会館改修設計	1,728,000	(株)衣笠設計
記念会館改修工事	19,440,000	日興建設(株)
第一体育館既設樋改修工事	275,400	日興建設(株)
ブックリターンポスト	204,120	キハラ(株)
床走行式リフト	211,100	(株)たんぼぼ本店
3号館調理実習室給水配管迂回新設工事	378,000	(株)みたか

(高校)

ヤマハトロンボーン	358,560	(株)森岡楽器
ヤマハバリトンサクソフォン	699,840	(株)森岡楽器
モースマンファゴット#445	930,180	(株)森岡楽器
消火器入替	206,280	三住管財(株)
プール改修工事	9,936,000	(有)ライチョウシステムズ
記念体育館倉庫改修工事	1,911,600	日興建設(株)
松聖館出入口扉修繕	870,000	日興建設(株)
野球グラウンド照明取替工事	416,790	(有)花崎電気工事
収納保管庫	205,920	(株)Too
総合グラウンド待避所設置	5,724,000	(株)藤原組
第2理科室黒板	253,000	(株)ライト黒板製作所

(西舞子幼稚園)

パソコン4台	479,160	NECフィールディング(株)
--------	---------	----------------

(神陵台幼稚園)

外壁他改修工事	13,176,000	(株)合田工務店
外壁他改修追加工事	4,374,000	(株)合田工務店
スチームコンベクション修理	304,656	タニコー
パソコン6台	718,740	NECフィールディング(株)

(北摂第一幼稚園)

保育室トイレ改修工事他	4,672,404	(有)なべい設備商会
保育室手洗い場改修工事	2,160,000	(有)なべい設備商会
遊戯室トイレ改修工事	3,736,370	(有)なべい設備商会
オーニングテント取替工事	1,188,000	但南建設(株)
ステンレス傾斜雲梯	420,000	(株)チャイルド社
パソコン9台	1,078,110	NECフィールディング(株)

(北摂中央幼稚園)

園庭入口門扉取替工事	313,200	但南建設(株)
園児用トイレ4室改修工事	10,800,000	(有)なべい設備商会
パソコン2台	239,580	NECフィールディング(株)

(北摂学園幼稚園)

園児用下足入改修工事	2,451,600	但南建設(株)
スチールドアフロアヒンジ交換工事	216,000	但南建設(株)
ロールスクリーン取り付け工事(3教室分)	399,600	但南建設(株)
照明LED化工事	473,220	(有)花崎電気工事
パソコン2台	239,580	NECフィールディング(株)

(キッズポート保育園)

パソコン10台	1,126,656	NECフィールディング(株)
調理室業務用テーブル型冷蔵庫	324,000	ホシザキ阪神(株)
屋外給湯配管整理バルブ交換工事	280,800	三住管財(株)

●湊川短期大学

今年度は昨年度から開始した改組を継続し、幼児教育専攻科の募集を停止したほか、次年度に予定している 1 年制の専攻科生活福祉専攻の開設を準備し、厚生労働省近畿事務所の認可を得た。また「教育の質保証」への取り組みとして、少人数指導体制の拡充に取り組んだ。

1. 短大改革の推進

今年度は、昨年度から開始した改組への取り組みとして、幼児教育専攻科の募集を停止した。代わりに次年度に予定された、幼児教育保育学科に接続する 1 年制の専攻科(生活福祉専攻)の開設の準備を進め、無事認可を得た。当初予定した、幼児教育保育学科に 2 年次からのコース制を導入する計画は、明確なコース制の導入は困難と判断し、進路指導の中で専攻科への進学を勧めることにした。次年度からはカリキュラムの構成を変更することによって、指導を強めることを予定している。また人間生活学科人間健康専攻で予定した、次年度からの中学校教諭(保健)二種免許の導入は、条件が整わなかったため計画は進んでいない。

2. 「地域貢献」を軸とした湊川短期大学のブランドづくり

今年度に予定した、地域連携センターおよび三田市地域子育て支援センターを軸にした地域貢献活動は、教員免許更新講習の開催や保育士のキャリアアップ講座の開催のほか、各教員の地域貢献活動および学生のボランティア活動等で一定の成果を上げた。地域子育て支援センターで計画した、「子ども発達支援室」(仮称)は開設にはいたらなかったが、実質的な相談事業を一部実施した。また履修証明プログラムの開設は、着手できなかった。一昨年行った募集では、有料制であることが災いしたためか、応募がなかった。

3. キャリア教育の推進・拡充

キャリア教育センターを軸とした、キャリア教育の拡充およびその研究開発に取り組んだ。数年来、充実を図ってきたキャリア・デザインⅠとⅡは、一定の形ができ上って来た。同Ⅲについては、受講者の数が少なかったため十分に機能しなかった。またキャリア教育センターの就職指導関連の取組を拡充し、全学科 100%近い成果を得た。

4. 教育の質保証への取組

「教育の質保証」を拡充するために、シラバスの精緻化や学修成果の可視化を基本にした、教育指導の充実に取り組んだ。また単なる知識の学修に留まらない、学生の人間力や社会人力を高めるために導入した、小集団指導体制の拡充に取り組んだ。さらに「短大の教育目標」を改訂し、学生から見て分かりやすい指標として示すとともに、ルーブリックによる評価および指導の拡充を図った。

5. 三田松聖高等学校・附属園との連携の強化

今年度は理事長の指導の下で、全校種が揃った一体的な議論が組織された。短大としては、連携のハブとなれるよう学内の体制づくりに努めた。個別には、三田松聖高等学校との連携として高等学校のキャリア教育体制づくりへの支援をした。また附属園との連携では、昨年

に引き続いて合同の研究会を実施したほか、教員が附属園の研修会に講師として参加した。

6. 図書館の拡充

今年度は、1階部分の改修工事に合わせたエントランス部分の整備が行われ、図書館としての条件が著しく改善された。和歌山大学の渡辺幹夫前図書館長の指導の下で行った閲覧室等の整備も進み、単なる図書の貸し出しや閲覧機能に留まらない、たまり場的要素や学習コーナー、ゼミブースなどの図書館機能が拡充された。学生の図書館利用および一般の方、講習会参加者などの利用も進展したが、さらに発展させる必要がある。

7. 経営体質の改善

入学者数は定員を割っている。広報の在り方の見直しや、オープンキャンパスの拡充に取り組んだほか、高校訪問の充実等に取り組んだ。私学振興財団の特別補助金の獲得は、設問が大規模大学に有利なものに変更されたため、不首尾に終わった。人経費の削減が重要な課題となっていたが、今年度は結果的に教員5名が退職し、3名を特任教員として採用することになった。なお、直接「経営体質の改善」と関係しないが、本年度は教員全員の教員評価を実施した。

三田松聖高等学校

2019年度 学校教育目標 「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

I. 生徒募集状況

① 志願者・入学者・生徒数の推移 ()男子数

(毎年5月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
2017年度	210	2,392(1,302)	394(254)	1,184(780)	394	412	378
2018年度	210	2,214(1,198)	290(185)	1,060(695)	290	377	393
2019年度	210	2,001(1,107)	252(157)	890(563)	252	281	357

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計
2017年度	73	3	1,111	28	31
2018年度	71	3	989	27	30
2019年度	50	3	840	23	26

(毎年5月1日現在)

II. 進路実績(2020年3月)

卒業生総数 351名

- ・4年制大学:122名(34.8%)
- ・短期大学:34名(9.7%)
- ・専門学校:106名(30.2%)
- ・就職:58名(16.5%)
- ・進学未定:31名(8.8%)

III. 自己発見プログラムの結果

- ・特別進学コース1年8組 クエストカップ2020全国大会出場(コーポレートアクセス部門)

IV. 部活動の主な結果

- ・女子バスケットボール部:県総体「第2位」、近畿総体「ベスト16」、県選手権大会「第2位」
県新人「第3位」、近畿新人出場 3×3U18日本選手権「第3位」
FIBA 3×3 アジアカップ2019 日本代表(岸本明香里)第2位
- ・女子バレーボール部:全日本私学選手権大会出場
- ・サッカー部:近畿私学2部3位
- ・陸上競技部:第7回全国高校選抜大会 男子3000m競歩 男子砲丸 出場
近畿ユース 1年男子800m優勝 県駅伝「第30位」(2H24m9)
インターハイ(男子:50m自由形。女子:100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、
200mバタフライ、400m個人メドレー、400mメドレーリレー)
国体(少年A女子400mメドレーリレー 第2泳者)
- ・水泳部:第72回県高校選手権大会 女子総合6位
- ・吹奏楽部:第66回県吹奏楽コンクール高校S部門 金賞、関西大会銀賞

V. 2019年度の主な行事

- 4月6日 第69回入学式
- 6月14,15日/18日 松聖祭(文化の部) / 松聖祭(体育の部)
- 6月28日 交換留学生(ブラジル)お別れの集会
- 8月2日,20日 学校見学会(中学生見学者:計773名 昨年度比73増)
- 8月4,17,18日 第14回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)
- 10月27日 令和2年度入試説明会全6回(826名 昨年度比225減)
- 1月12日～17日 2年生・ハワイへの修学旅行(第15回目)
- 2月10日 令和2年度入学試験(志願者:2,088名)
- 2月21日 第67回卒業式
- 3月2日～ 臨時休業(新型コロナウイルス感染防止のため)

VI. 総括

- ・ 2020年度志願者は、昨年度比87名増と2年続いた減少に歯止めがかかった。しかし、入学者は3年連続減となり募集定員(210名)近くの228名となった。少子化の影響だけに原因を求めたのでは今後の募集計画を立てることはできない。大阪府私学の阪神地区中学校に対する募集攻勢の強化、第2学区中学生数の令和1年→2年の1085名減など大変厳しい状況にあるが、持てる学校資産の活用・新規取り組みなどで魅力ある学校づくりが急務である。
- ・ 今年度入学生より総合コースの1年生は、進路希望調査(*1)に基づくクラス編成を行った。そのため、アスリート進学クラス(1)、短大・専門学校・就職希望者の総合進学クラス(3)、大学進学クラス(3)の計7クラスとなった。
- ・ 前記のクラス編成により総合コースの学力差は、クラス間で見られるものの、同じ目標をもつ生徒を集めため、指導がしやすかったとの報告がある。今後さらなる工夫を講じたい。
- ・ 本校独自の「自己発見プログラム」の柱の1つである、教育と探求社の探究学習プログラム「クエストエデュケーション」に特別進学コースの12名が3グループに分かれて取り組んだ。1月に発表会をもち、その様子はオンライン配信により主催者に送られた。後日、審査報告が有り、テレビ東京グループが全国大会への出場を勝ちえた(*2)。2月23日の全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、大会当日に本校よりオンライン中継の発表が行われ、審査員より絶賛を受けた。
- ・ 2年生のキャリア進学コース生徒が取り組む、キャリア探求とスキルアップ講座の教育内容の構築をすすめた。
- ・ 新学習指導要領による新しい教育課程は、2022年度から始まる。それに向けた教育課程の策定を行う。
- ・ 国立大など難関大学の合格者が出ているが、基礎学力の向上なくして進路目標の達成はできない。日々の授業、補講、塾講師によるTT授業など全ての教育サービスを見直し、生徒が本校で学んで良かったと実感でき授業体制を構築する。
- ・ ICT教育について、iPad50台を特別進学コースの1年生の校内学習用として導入した。また校内Wi-Fi工事を行い環境を整えたが、通信速度など環境改善をすることは多い。
- ・ 3月より新型コロナウイルス感染予防のため、学校は休業となった。これまでオンライン授業は、一部の先進校の取り組みであり本校も近い将来それができる環境を整えればとの計画をもっていたが、休業が長期に渡った現在その整備は急務である。人的配置、予算措置など、学園をあげて整備することが求められる。
- ・ 変形労働時間制による勤務形態を採用した。今までとは大きく違う勤務形態のため教師の戸惑いが散見された。制度の理解を深め、新しい働き方を確立する必要がある。特に部活動の指導時間をどのように確保するか大きな課題である。

注*1) 合格通知書にアンケート用紙を同封し、入学者説明会で回収

注*2) 今年度は全国エントリー数3420組より優秀賞に選ばれた162組が全国大会に出場予定であった。

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 2019年度事業報告

(1) 在籍状況(利用定員200名 認可定員220人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
満3歳児	0	2	4	5	5	9	13	14	14	14	14	14	108
3歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	62	62	62	753
4歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	756
5歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
計	200	202	204	205	205	209	213	214	214	213	213	213	2505

何より10月からの「保育の無償化」が最も大きな一歩であった。他にも子育てのための施設等利用給付について「新2号認定」が新たに認定された。預かり保育手当もよりサポートされ、子育て世代にとっては力強い支援体制ができた事が有難い。上記の様な支援体制をしっかりと保護者に説明責任を果たしながら、新制度の支援や補助が行き届いた安定した園運営と、本園の特色の理解・支持の向上に努める。

(2) 運営・経営状況

・2年間、短大で学ばせて頂き、副園長として西舞子に戻ってきた職員の新風は、色々な意味で刺激となった。特に限りの職員数の日々の効率よい勤務管理されたシフトの徹底で、すべき事、時間の割り振りが個人レベルでクリアになった事が最大のメリットである。ギリギリの職員人数、そんな中、職員の予期せぬ病氣、怪我、出停など週によって、また日によってもシフト配置が変更され遂行できた。それは、しいては子どもを見守る安定した人的環境となっていたと実感する。

・退職者が、経験5年目の教諭1名(結婚)であったのに、2月中旬過ぎでの初任者の退職は、事由も理不尽で本人も訳のわからぬまま退職に至ったのが残念。結局、昨年度に引き続き常勤教諭(正規)欠員1名となり、副園長も2年度から神陵台との兼務となり、職員室席2席空席のままである。

(3) 怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、脳外科3、外科3、歯科1、眼科4だった。健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、癲癇、発熱初期の熱性痙攣、重度の食物アレルギーなど多く、ダイナップ、エピペン等の薬剤を園で預かった。それ以外で、入園早々の3歳児が登園直後に痙攣で倒れ、救急搬送した。結局は熱性痙攣で、初期対応を褒めて頂いた。保護者も初めてのことで、一番驚かれていた。今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう(緊急時対応シュミレーション、AED研修、エピペン使用方法など)、スキルを高めていく。

(4) 子育て支援事業

- ・ひよこルーム(預かり保育): AM7:00～19:00 長期休暇中も有 1日平均約50人前後 各号により料金設定有
- ・つぼみ教室: 月4回程度、登録12組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
- ・すこやかひろば: 月2回程度、満1歳以上未就園親子。随時登録可。地域友達との触れ合いの場とする。
- ・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

(5) 職員研修

- ・新任研修(年14回) ・附属5園、短大研修 ・子育てフォーラム
- ・県、神私幼連盟研究会[特別支援研修(3名)、専門研修(4名)、主任研修・10年目研修(1名)]
- ・県私幼研究会子育て相談研修(1名) ・私立幼稚園研修会 ・垂水区私立幼、保、小教員研修
- ・幼小連絡会(小学校長、幼稚園、保育園長)

(6) 購入・修繕等

- ・購入・修繕 特になし

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(6月・・・明石市立中学校2校、10月・・・神戸市立中学校3校)
- ・実習生、学生ボランティア受け入れ ・交通安全教室(垂水警察来園指導)
- ・就学前事業「にしまいっこあきまつり」「ようこそにしまいこしょう」(5歳児西舞子小へ)
「あきランド」(5歳児西脇小へ)
- ・消防署体験訪問(垂水消防署) ・プレ親体験交流学習(長坂中3年)

(8) 広報・社会活動

- ・園児育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
- ・幼稚園ホームページの更新充実と 各学年 ブログ更新(1～2週間ごと)

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・園内研究会(各学期ごと)の実施 ・行事に向かったの全学年保育実践協議・検討(必要に応じ)
- ・子どもの発達に添った実践を基にした話し合い ・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導
- ・園長からの保育参考資料配布 ・市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導(年2回実施)
- ・(県)キンダーカウンセラー訪問指導(年6回)

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 2019年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員 240名 ・ 利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	1	2	3	7	8	10	10	10	10	10	10	10	91
3歳児	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	564
4歳児	54	54	54	54	54	54	54	54	54	53	53	53	645
5歳児	54	54	54	54	53	53	53	53	53	53	53	53	640
計	156	157	158	162	162	164	164	164	164	163	163	163	1940

(2)運営・経営状況

・新制度の幼稚園型認定こども園となり6年目。例年のように神戸市からの依頼人数が不確定の為、定員に満たない状況が続いているが、2018年度、2019年度と利用定員に対しての入園率では90%を超えている。

・怪我、事故等も少なく、保護者からのクレームもほとんど無い。父母の会も協力的で助かっている。落ち着いた園の運営が出来ている。

・新任常勤教諭4名が配属されたが6月末に1名が退職。その他に、家庭の事情(子どもさんの体調不良の看護の為)で休みがちになった教諭1名、体調を崩し入院治療と自宅療養の教諭1名、自宅療養の常勤教諭1名と欠員が続いた。その都度、空いた穴を残りの職員で埋めてきた。この1年間、常勤的教諭、非常勤講師の補充を模索したが結果は思わしくなく結局欠員1名のまま終わる。

・令和2年度の職員補充が不安なため、歳3歳児クラスの募集は行わいことになった。

(3)怪我・事故

・外科2件

転倒による 下顎裂創 1件

友達と激突による顔面挫創 1件

(4)子育て支援事業

・私立幼稚園2歳児子育て応援事業「いちご教室」(在宅2歳児対象) は、2018年度に続き2019年度も実施した。

・みんなの幼稚園事業の「ふれあい広場」(未就園児対象、月2回程度)は幼児の体験を重視し参加者が多数。

・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設するが本年度も申し込みなし。

(5)職員研修

・神戸市私立幼稚園連盟主催新任研修(年10回)、附属園研修、神戸市私立幼稚園専門研修、10年目研修、神戸地区私立学校・幼稚園人権教育研究協議会、私立幼稚園教員子育て支援研修、主任研修、兵庫県私立幼稚園協会主催第34回近畿地区私立幼稚園教員研修大会、兵庫県認定こども園園長等研修(年6回)

(6)購入・修繕等

・園舎の壁面補修工事 ・園舎全面塗替え ・玄関アプローチセーフティスペース工事

・遊具購入(アンパンマンうきうきバス) ・給食室スチームタンク修繕、

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやる・ウィーク(神陵台中・長坂中) ・神陵台小学校との交流体験活動(プレ小学生)

・幼稚園実習生受け入れ、中学校との交流(長坂中・神陵台中) ・プレ親体験 2校

(8)広報・社会活動

・神戸市こども家庭局のHP等への情報提供(預かり保育実施園一覧表)

・広報誌(ちゃいるどのと・神戸市垂水区版)に情報掲載

(9)園内研究(委員会)活動

・園内での保育研究 5～6月に全員実施。(1人2回程度実施)

湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 2019年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員300名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
満3歳児	0	2	4	4	4	9	9	9	10	10	10	10	81
3歳児	74	74	74	74	73	74	74	74	74	74	74	74	887
4歳児	84	84	84	84	82	82	83	82	82	82	82	82	993
5歳児	65	65	65	65	65	65	67	67	67	67	67	67	792
計	241	243	245	245	242	248	251	250	251	251	251	251	2969
入所率	166%	168%	169%	169%	167%	171%	173%	172%	173%	173%	173%	173%	

(2)運営・経営状況

- ・クラス数については昨年度同様である。
- ・職員の退職は正規1名、非常勤1名である。新規採用は2名、異動1名である。
- ・担任(常勤)、副担任(非常勤)と9クラス全て2人体制で取り組みが出来た。
- ・保護者の会三役と学級委員が園運営に大変協力的で、スムーズに運営できた。
- ・1号認定子どもの預かり保育利用児が増加している。

(3)怪我・事故

- ・病院での診断、治療・・・10回(歯科2件、整形外科6件、外科1件、耳鼻咽喉科1件)受診。

(4)子育て支援事業

- ・すこやか広場、月に2回実施(園庭開放・職員と遊ぼう・教育相談)
- ・あいあいルーム
親子コース 月2～3回(延べ利用者数 543名)
こどもコース 月3～4回(延べ利用者数 260名)
本年度も非常に好評で利用者が年々増加し、嬉しい悲鳴をあげている。
先に述べたあいあいルームを経験された方がそのまま幼稚園に入園したいという希望者が多い。
内容的にも充実しているので、希望者が多いのではないかと推察できる。

(5)職員研修

- ・キャリアアップ研修、新任研修、特別支援研修、夏季特別講座、三同教(県・市)主催、教員研修大会等、様々な研修に参加できた。
- ・特別支援教育では、本園児が通園している支援級に担任が出向き、担当職員の方に丁寧に教えていただき、両輪で園児の成長に向けて取り組んでいる。

(6)購入・修繕等

- ・遊戯室トイレの改修工事、遊戯室カーテンの取替え工事。

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(2校)・北摂三田高校体験保育・有馬高校インターンシップ受入・教育実習受入。
- ・武庫小学校との交流
- ・武庫小校区 武庫っこまつりに参加(4歳児有志参加)
- ・コーラスの指導講師による七夕コンサートに参加。(5, 4歳児有志)
- ・湊川相野学園創立100周年記念式典のオープニングに樽太鼓で出場(5歳児全員)

(8)広報・社会活動

- ・保、幼、小連携に係るスタンダードカリキュラム(7)園内研究(委員会)活動・卒業生と語る会出席。
- ・三田市と連携し、子育て支援事業の掲載。

(9)その他

- ・特別支援の必要な園児への対応を学ぶため、県から派遣されているキダーカウンセラーの先生に
お越しいただき、ご指導いただいた。

湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 2019年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員290名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度3月
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	78	78	78	78	78	78	78	77	77	77	77	77	90
4歳児	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	88
5歳児	89	89	89	89	89	89	91	90	90	90	90	90	84
計	261	261	261	261	261	261	263	261	261	261	261	261	262

* 昨年度と比較して

前年度と同数の在園児数である。年長組が9月から入園、途中退園は2名であった。

4, 5歳児の進級数が多かったため、3歳児の人数が少なくなった。クラス運営的には年齢に合わせた保育がスムーズにできる体制であった。

(2)運営・経営状況

・新規採用は常勤1名、非常勤1名。年度末退職者は常勤、非常勤併せて7人。運営は比較的安定した一年であった。保護者の会の活動もスムーズに運営されていた。学園創立100周年記念事業を園内でも行った。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は13回

(外科・整形外科 12件 歯科 1件)

主な内容は挫創、肘内障、歯茎出血、まぶた殺傷、脱臼、亜脱臼等であった。

(4)子育て支援

・人数を減らし、前期は親子、後期は子どもだけで行った。申し込みは例年多いが、個別配慮の必要な子ども対応のため、この形式をとった。

色々な企画や内容的にも充実した取り組みを行っていた。来年度もこの形式で計画している。

(5)職員研修

・新任研修、附属7園研修、三同教、県、市主催の研修、キャリアアップ研修、子育て支援研修、保幼小中連携研修、特別支援研修など多数参加した。年度末の教員研修大会や新任研修等、3月に予定されていた研修は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。

(6)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク2校受入れ、三田西陵、祥雲館高校との交流、すずかけ台小学校との交流を例年通り実施した。地域の大型店舗への絵の掲示、ウッディタウン市民センターまつりでは踊りを披露した。波豆川地区とは田植、稲刈り、芋の苗植え、収穫、しめ縄作りなど多くの交流活動ができた。

(7)広報・社会活動

・すずかけカーニバルへの出展協力、掲示板による園行事、子育てフォーラムや子育て支援の掲載、笑顔ですくすくSUNだっこ、ハニーFMのラジオ出演等を行った。

(8)園内研究(委員会)活動

・兵庫県、三田市教育委員会、子ども支援課等の教育相談やアドバイスを受け、気になる児童への対応を職員会議等で報告をした。湊川短大との研究会にも参加し、他園との情報交換等も行った。キンダーカウンセラーは相談者もリピーターも増えて、対応も細やかなので好評であった。

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 2019年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	597
4歳児	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	588
5歳児	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	492
計	139	139	139	140	140	140	140	140	140	140	140	140	1677
入所率	96%	96%	96%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	

* 昨年度と比較して

・入園率4月より90%以上保持。

2018年度3月137名 2019年度 3月140名

(2)運営・経営状況

湊川相野学園創立100周年を迎えた記念の年、年間に催す各行事毎に創立100周年の冠を付け、長い歴史の歩みを祝った。校祖幸田たま先生の教えが基の「やさしい子、たくましい子」の育成を目指し本年も着実に園経営を行うことができた。子どもたちの成長する姿を親た保護者や地域の方々から高い評価をいただけるようになった。

元号が令和となった2019年は節目の年として充実した1年となった。来年度に向けてより一層研鑽を積み、地域に根を張った信頼される幼稚園となるよう、皆で力を合わせ一所懸命頑張っていきたい。

(3)怪我・事故

病院で診断・治療を受けた回数5回(歯科2回、眼科1回、外科1回、脳外科1回)

(4)子育て支援事業

・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放日を設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。

・兵庫県わくわくようちえん事業

(5)職員研修

・附属5園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会・特別支援研修・学校園所連携研修・教員研修大会・湊川相野学園保育研究会

(6)購入・修繕等

購入 防災投光器

修繕 下駄箱改修工事・遊戯室等LED化

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク・三田松聖高校実習農園借用・県立祥雲館高校体験保育・実習生受け入れ・関西学院大学よさこい連炎流との交流・湊川短大・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

(8)広報・社会活動

・こいのぼり防火訓練・県立祥雲館高校との交流新聞掲載・園飼育の羊の毛刈り新聞掲載・学園地域まつり職員参加

(9)園内研究(委員会)活動

・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症委員会・アレルギーについての会議

湊川短期大学附属キッズポート保育園 2019年度事業報告

(1) 在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	7	7	8	10	11	11	11	11	12	12	13	14	127
1歳児	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	162
2歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
3歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
4歳児	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	162
5歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
計	81	81	82	84	85	85	83	83	84	84	85	86	1,003
入所率	116%	116%	117%	120%	121%	121%	119%	119%	120%	121%	121%	123%	119%

※1・4歳児兄妹の2名が転宅により退園

(2) 運営・経営状況

年度後半に在園児兄弟が入園希望を出していたが、他園保育士の子の入園希望者もいた為、0歳児の受け入れが例年より14名と多くなってしまった。(保育士の適正人数は確保できていた為、受け入れができた。)

(3) 怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は7回(歯科2件、形成外2件、小児科2件、眼科1件)いずれの怪我も完治済。

(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は5件。歯科1件、形成外科2件、小児科1件、眼科1件ともに1件ずつ) ※その他は1回の受診で完治。

(4) 子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。

(5) 職員研修

- ・園外研修
新任研修、三人考(就学前教育部会研修)、睦保会研修(三田市内認可保育園所8園合同)、給食施設協議会研修(アレルギー)、危機管理にかかわる研修、からだの学習会
保育課題サポート研修、三田市立三田保育所公開保育、子ども療育講座、養護にかかわる研修会
処遇改善キャリアアップ研修(保護者支援・幼児保育・乳児保育・障害児保育・マネジメント受講)
三田市内認可保育園所との保育士部会(学年別)等
- ・園内研修
0歳児のあそびと発達、保育担当制、わらべうたの研修

(6) 購入・修繕等

- ・スチームコンベクションタッチパネル基盤修繕
- ・調理室作業台下用、テーブル形冷蔵庫
- ・園庭手洗い・シャワー場給湯排管修理
- ・職員用ノートパソコン買い換え

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィーク3校(三田市内2校・神戸市北区1校)、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学1回生来園、附属短大生との交流
すずかけ台小学校との交流会(行事見学・参加等)、よこやま保育園との年長児交流会年2回
保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

(8) 広報・社会活動

- ・三田市内認可保育園所・幼稚園合同による就職フェアが実施され、三田市内附属園4園で1ブースを出した。

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児クラス保育会議、乳児クラス保育会議
- ・離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。
- ・睦保会会計監査を1期務めた。

湊川短期大学附属ぽるとこども園 2020年度事業報告

(1) 在籍状況(定員19名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	41
1歳児	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	104
2歳児	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	89
計	19	19	19	19	20	19	19	20	20	20	20	20	245
入所率	100%	100%	100%	100%	105%	100%	100%	110%	110%	110%	110%	110%	107%

(2) 運営・経営状況

開園3年目となり、運営また保育も充実へと向かった。また様々な基礎固めをしていくにあたり次年度に続き課題を整理した(園務分掌・園内の使い方や戸外活動時および午睡時における安全確保)。経営においては、0歳児の入所希望があり安定した。

(3) 怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は2回(小児科・皮膚科各1件)いずれの怪我も完治済。
- (日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は2件)

(4) 職員研修

- ・新任研修、短期大学・附属園 教育・保育研究会 園内研修(年2回)
- 他園見学、キャリアアップ研修、特別支援教育研修講座

・実践研究

「小規模保育施設という場」における保育者の心の動き」日本質的心理学会第16回大会

「子どもの主体としての心を育てる保育とはⅣ-小規模保育施設で育つ乳幼児の自己充実欲求を捉えて-」
日本乳幼児教育学会第29回

「子どもの主体としての心を育てる保育に向けてⅡ-自己充実欲求を視座に小規模保育のあり方を考える-」
「小規模保育施設における自然とのかかわりによる乳幼児の育ち-園外保育のドキュメンテーションの試みから-」
湊川短期大学紀要 第56集

(5) 連携事業活動

- ・附属短大生との交流
- 連携園との交流活動
- 保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

(6) 園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、保育環境会議、危機管理委員会
- ・離乳食会議、アレルギー児対応についての会議等を行った。

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどのような収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれております。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、事業活動支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

2019年度

財務報告

●資金収支計算書●事業活動収支計算書●貸借対照表
●活動区分資金収支計算書(千円単位四捨五入のため差異あり)
学校法人 湊川相野学園

資金収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,600,675	1,620,596	△ 19,920	学生生徒等納付金収入	833,564	839,314	△ 5,751
教育研究経費支出	332,852	342,034	△ 9,182	手数料収入	40,208	38,569	1,639
管理経費支出	278,381	281,663	△ 3,282	寄付金収入	44,184	43,732	452
借入金等利息支出	1,812	1,812	0	補助金収入	1,207,806	1,220,909	△ 13,103
借入金等返済支出	19,460	19,460	0	資産運用収入	31,167	31,188	△ 21
施設関係支出	27,131	28,855	△ 1,724	資産売却収入	1,854,048	1,854,048	0
設備関係支出	14,545	15,307	△ 762	事業収入	95,381	102,004	△ 6,623
資産運用支出	1,880,769	1,976,189	△ 95,421	雑収入	152,609	156,118	△ 3,508
その他の支出	263,555	2,137,961	△ 1,874,407	借入金等収入	0	0	0
予備費	0	0	0	前受金収入	147,050	151,915	△ 4,865
資金支出調整勘定	0	△ 172,840	172,840	その他の収入	238,212	2,173,141	△ 1,934,929
次年度繰越支払資金	1,640,030	1,625,839	14,191	資金収入調整勘定	△ 172,999	△ 322,042	149,043
				前年度繰越支払資金	1,587,980	1,587,980	0
支出の部合計	6,059,210	7,876,876	△ 1,817,665	収入の部合計	6,059,210	7,876,876	△ 1,817,665

事業活動収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,600,675	1,620,774	△ 20,098	学生生徒等納付金	833,564	839,314	△ 5,751
教育研究経費	523,011	537,440	△ 14,428	手数料	40,208	38,569	1,639
管理経費	294,443	300,132	△ 5,689	寄付金	44,184	43,732	452
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補助金	1,203,414	1,215,351	△ 11,937
				事業収入	95,381	102,004	△ 6,623
				雑収入	152,609	147,618	4,992
教育活動収支差額	△ 48,770	△ 71,758	22,988				
借入金等利息	1,812	1,812	0	受取利息・配当金	31,167	31,188	△ 21
その他の教育活動外収	0	0	0	その他の教育活動外収	0	0	0
教育活動外収支差額	29,354	29,376	△ 21				
資産処分差額	0	29,635	△ 29,635	資産処分差額	0	16,842	△ 16,842
その他の特別支出	0	605	△ 605	その他の特別収入	4,392	8,761	△ 4,369
特別収支差額	0	30,240	△ 30,240				
支出の部合計	2,419,942	2,490,398	△ 70,455	収入の部合計	2,404,919	2,443,379	△ 38,460
予備費	0	0	0				
基本金組入前当年度収支差額	△ 15,024	△ 47,019	31,996				
基本金組入額合計	△ 61,136	△ 148,959	87,824				
当年度収支差額	△ 76,159	△ 195,979	119,820				
前年度繰越収支差額	△ 195,281	△ 224,292	29,011				
基本金取崩額	0	0	0				
翌年度繰越消費収入超過額	△ 271,440	△ 420,270	148,830				

貸借対照表

2020年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,434,649	8,500,851	△ 66,202
(1)有形固定資産	5,863,704	6,032,560	△ 168,856
(2)その他の固定資産	2,570,945	2,468,291	102,654
流動資産	1,782,097	1,675,241	106,855
合計	10,216,746	10,176,093	40,653

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	485,501	504,763	△ 19,262
流動負債	396,254	289,320	106,935

第1号基本金	9,411,261	9,606,302	△ 195,041
第2号基本金	171,000	94,000	77,000
第4号基本金	173,000	173,000	0
消費収支差額	△ 420,270	△ 491,292	71,021
合計	10,216,746	10,176,093	40,653

活動区分資金収支計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,395,087
教育活動資金支出計	2,243,752
差引	151,335
調整勘定等	△ 17,406
教育活動資金収支差額	133,929

施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	5,558
施設整備等活動資金支出計	139,582
差引	△ 134,024
調整勘定等	△ 5,364
施設設備等活動資金収支差額	△ 139,388

その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	4,005,231
その他活動資金支出計	3,961,842
差引	43,388
調整勘定等	△ 70
施設設備等活動資金収支差額	43,318
支払資金の増減額	37,859
前年度繰越支払資金	1,587,980
翌年度繰越支払資金	1,625,839

過去5カ年の財務の推移表

単位 千円

資金収支計算書	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
	短大327名 高校1,108名 幼稚園955名 保育所80名			短大343名 高校1,169名 幼稚園933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園958名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園999名 保育所100名		
大科目							金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,035,211	20.0%		1,089,217	17.8%		1,110,677	20.1%		1,021,964	17.2%		839,314	10.7%	
手数料収入	46,779	0.9%		45,848	0.8%		42,376	0.8%		37,902	0.6%		38,569	0.5%	
寄付金収入	11,176	0.2%		17,737	0.3%		10,019	0.2%		11,010	0.2%		43,732	0.6%	
補助金収入	938,151	18.1%		1,485,307	24.3%		1,115,203	20.2%		1,161,611	19.6%		1,220,909	15.5%	
資産運用収入	50,076	1.0%		42,855	0.7%		40,558	0.7%		43,383	0.7%		31,188	0.4%	
資産売却収入	599,800	11.6%		1,154,630	18.9%		673,049	12.2%		1,378,800	23.2%		1,854,048	23.5%	
事業収入	81,088	1.6%		88,802	1.5%		107,011	1.9%		105,873	1.8%		102,004	1.3%	
雑収入	77,628	1.5%		60,245	1.0%		44,786	0.8%		72,326	1.2%		156,118	2.0%	
借入金等収入	0	0.0%		200,000	3.3%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
前受金収入	257,707	5.0%		250,674	4.1%		219,957	4.0%		172,999	2.9%		151,915	1.9%	
その他の収入	565,003	10.9%		717,643	11.8%		954,090	17.3%		673,054	11.3%		2,173,141	27.6%	
資金収入調整勘定	△ 295,449	-5.7%		△ 750,545	-12.3%		△ 297,230	-5.4%		△ 273,170	-4.6%		△ 322,042	-4.1%	
前年度繰越支払資金	1,812,880	35.0%		1,702,870	27.9%		1,510,409	27.3%		1,526,825	25.7%		1,587,980	20.2%	
資金収入合計	5,180,050	100.0%		6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%		7,876,876	100.0%	
人件費	1,293,502	25.0%		1,356,758	22.2%		1,507,800	27.3%		1,528,416	25.8%		1,620,596	20.6%	
教育研究経費支出	478,123	9.2%		383,912	6.3%		453,186	8.2%		333,889	5.6%		342,034	4.3%	
管理経費支出	352,328	6.8%		279,019	4.6%		288,278	5.2%		269,053	4.5%		281,663	3.6%	
借入金等利息支出	750	0.0%		750	0.0%		1,891	0.0%		1,887	0.0%		1,812	0.0%	
借入金等返済支出	0	0.0%		0	0.0%		8,390	0.2%		8,330	0.1%		19,460	0.2%	
施設関係支出	272,758	5.3%		1,322,032	21.7%		416,056	7.5%		300,997	5.1%		28,855	0.4%	
設備関係支出	26,359	0.5%		76,725	1.3%		20,214	0.4%		20,963	0.4%		15,307	0.2%	
資産運用支出	779,361	15.0%		917,978	15.0%		990,984	17.9%		1,318,472	22.2%		1,976,189	25.1%	
その他の支出	424,025	8.2%		394,625	6.5%		411,481	7.4%		641,214	10.8%		2,137,961	27.1%	
資金支出調整勘定	△ 150,026	-2.9%		△ 136,925	-2.2%		△ 94,200	-1.7%		△ 78,625	-1.3%		△ 172,840	-2.2%	
次年度繰越支払資金	1,702,870	32.9%		1,510,409	24.7%		1,526,825	27.6%		1,587,980	26.8%		1,625,839	20.6%	
資金支出合計	5,180,050	100.0%		6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%		7,876,876	100.0%	

過去5カ年の財務の推移表②

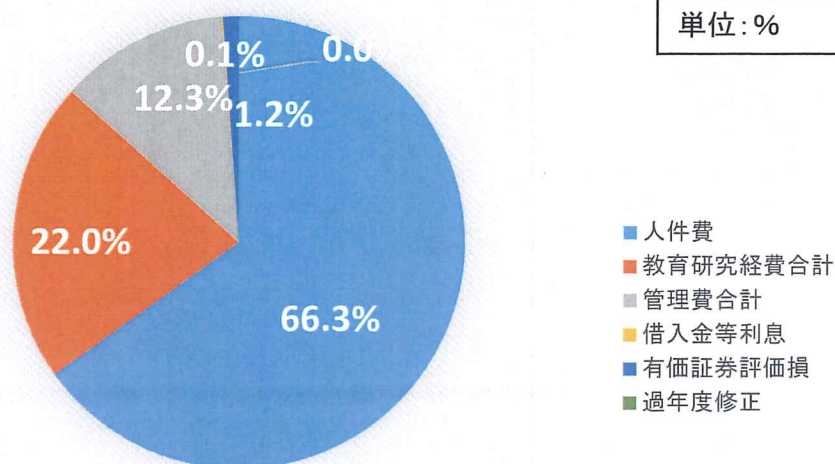
単位 千円

事業活動収支計算書	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
	短大327名 高校1,108名 幼稚園 955名 保育所80名			短大343名 高校1,169名 幼稚園 933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園 958名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園 990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園 999名 保育所100名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,035,211	47.2%		1,089,217	46.5%		1,110,677	45.7%		1,021,964	42.4%		839,314	35.2%	
手数料	46,779	2.1%		45,848	2.0%		42,376	1.7%		37,902	1.6%		38,569	1.6%	
寄付金	14,152	0.6%		5,570	0.2%		10,019	0.4%		11,010	0.5%		43,732	1.8%	
補助金	938,866	42.8%		1,050,582	44.9%		1,114,041	45.9%		1,160,411	48.2%		1,215,351	50.9%	
事業収入	81,088	3.7%		88,802	3.8%		107,011	4.4%		105,873	4.4%		102,004	4.3%	
雑収入	77,628	3.5%		60,245	2.6%		44,786	1.8%		72,326	3.0%		147,618	6.2%	
教育活動収入計	2,193,724	100.0%		2,340,264	100.0%		2,428,909	100.0%		2,409,485	100.0%		2,386,587	100.0%	
人件費	1,291,635	58.9%		1,355,790	57.9%		1,499,273	61.7%		1,527,460	63.4%		1,620,774	67.9%	
(教育研究経費支出)	(425,031)	19.4%		(339,545)	14.5%		(382,550)	15.7%		(271,801)	11.3%		(276,469)	11.6%	
(奨学費支出)	(53,091)	2.4%		(44,366)	1.9%		(72,079)	3.0%		(63,531)	2.6%		(65,565)	2.7%	
(減価償却額)	(139,887)	6.4%		(142,088)	6.1%		(171,763)	7.1%		(181,918)	7.6%		(195,406)	8.2%	
教育研究経費 合計	618,010	28.2%		525,999	22.5%		626,392	25.8%		517,250	21.5%		537,440	22.5%	
(管理経費支出)	(352,328)	16.1%		(279,019)	11.9%		(288,278)	11.9%		(269,053)	11.2%		(281,123)	11.8%	
(減価償却額)	(18,678)	0.9%		(14,862)	0.6%		(18,159)	0.7%		(17,498)	0.7%		(19,009)	0.8%	
管理経費 合計	371,006	16.9%		293,881	12.6%		306,437	12.6%		286,551	11.9%		300,132	12.6%	
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%		31	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動支出計	2,280,651	104.0%		2,175,701	93.0%		2,432,103	100.1%		2,331,260	96.8%		2,458,345	103.0%	
教育活動収支差額	△86,926	-4.0%		164,563	7.0%		△3,194	-0.1%		78,225	3.2%		△71,758	-3.0%	
受取利息・配当金	50,076	2.3%		42,855	1.8%		40,558	1.7%		43,383	1.8%		31,188	1.3%	
その他の教育活動外収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外収入計	50,076	2.3%		42,855	1.8%		40,558	1.7%		43,383	1.8%		31,188	1.3%	
借入金等利息	750	0.0%		750	0.0%		1,891	0.1%		1,887	0.1%		1,812	0.1%	
その他の教育活動外支出	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外支出計	750	0.0%		750	0.0%		1,891	0.1%		1,887	0.1%		1,812	0.1%	
教育活動外収支差額	49,326	2.2%		42,105	1.8%		38,666	1.6%		41,495	1.7%		29,376	1.2%	
経常収支差額	△37,600	-1.7%		206,668	8.8%		35,473	1.5%		119,720	5.0%		△42,382	-1.8%	
資産売却差額	0	0.0%		166	0.0%		2,753	0.1%		4,196	0.2%		16,842	0.7%	
その他の特別収入	0	0.0%		449,688	19.2%		6,599	0.3%		3,288	0.1%		8,761	0.4%	
特別収入計	0	0.0%		449,854	19.2%		9,352	0.4%		7,483	0.3%		25,603	1.1%	
資産処分差額	97,679	4.5%		153,107	6.5%		648	0.0%		39	0.0%		29,635	1.2%	
その他の特別支出	715	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		12,502	0.5%		605	0.0%	
特別支出計	98,394	4.5%		153,107	6.5%		648	0.0%		12,541	0.5%		30,240	1.3%	
特別収支差額	△98,394	-4.5%		296,747	12.7%		8,703	0.4%		△5,058	-0.2%		△4,637	-0.2%	
基本金組入前当年度収支差額	△135,994	-6.2%		503,415	21.5%		44,176	1.8%		114,663	4.8%		△47,019	-2.0%	
基本金組入額合計	△93,664	-4.3%		△583,282	-24.9%		△479,420	-19.7%		△431,904	-17.9%		△148,959	-6.2%	
当年度収支差額	△229,658	-10.5%		△79,868	-3.4%		△435,245	-17.9%		△317,242	-13.2%		△195,979	-8.2%	
前年度繰越収支差額	504,001			514,176			527,784			92,950			△224,292		
基本金取崩額	239,833			93,476			0			0					
翌年度繰越収支差額	514,176			527,784			92,540			△224,292			△420,270		

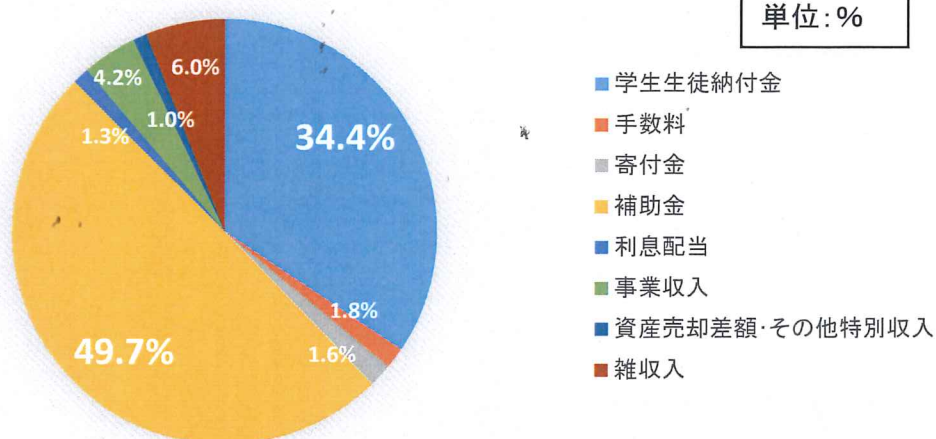
※各比率は教育活動収入に対する比率。

2019年度決算報告グラフ他分析資料

2019年度 事業活動支出構成比率

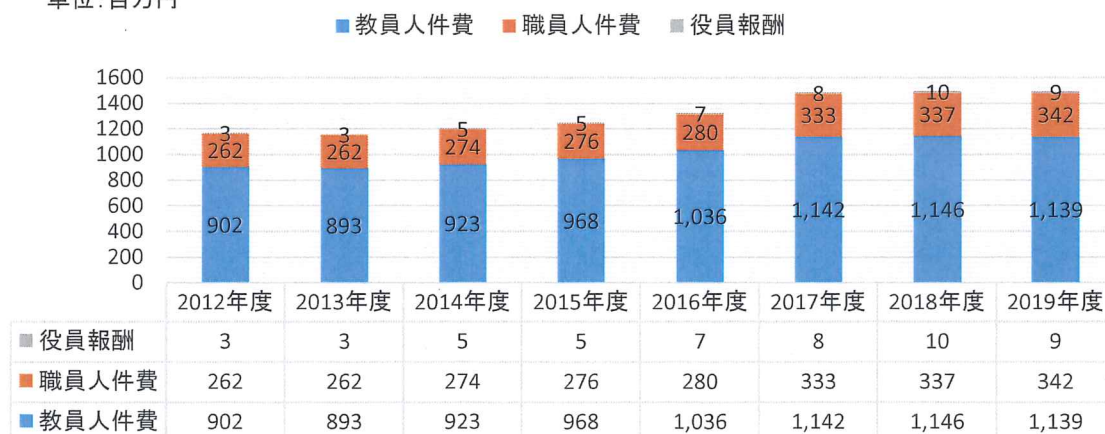


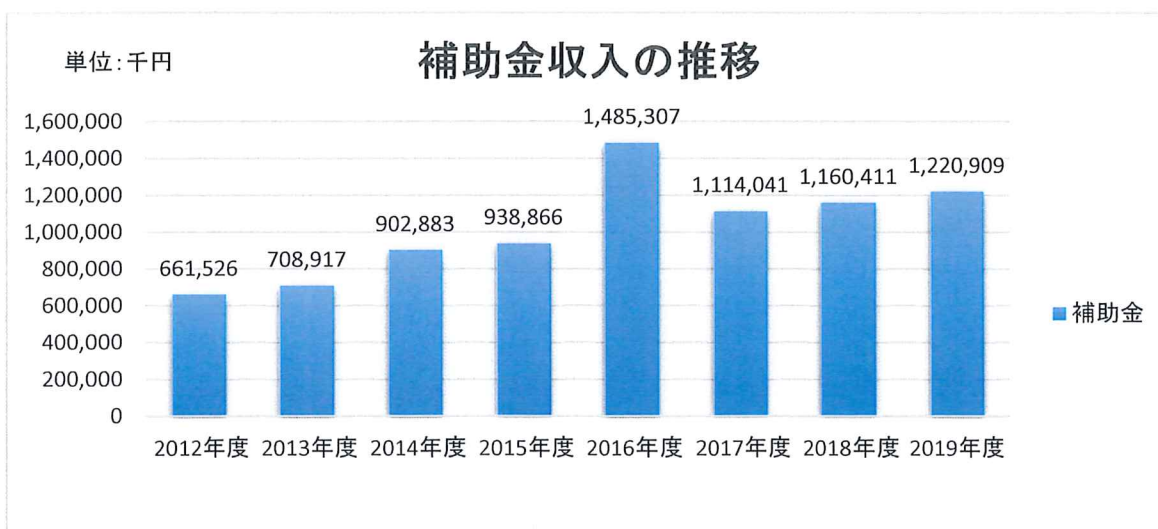
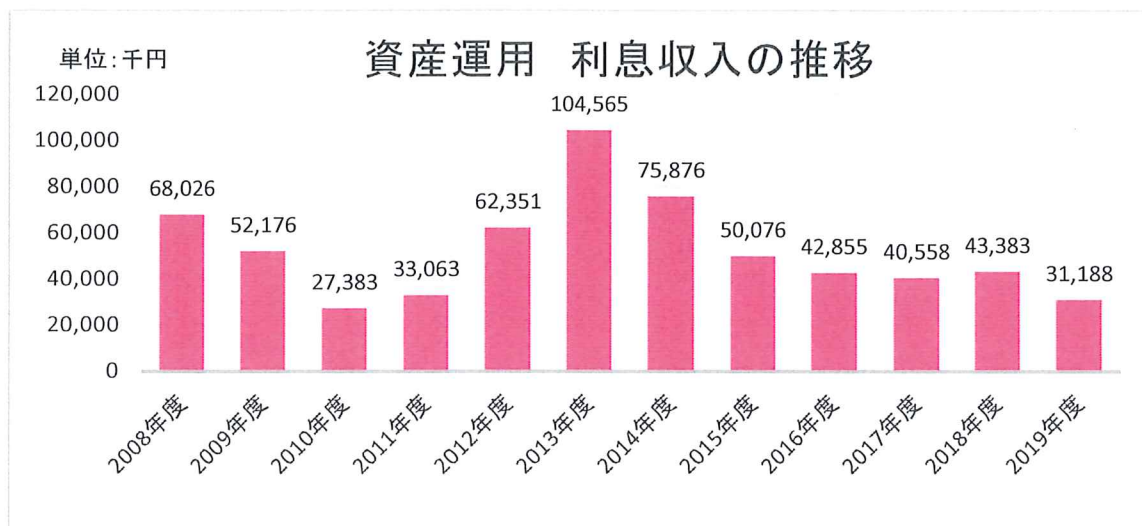
2019年度 事業活動収入の構成比



人件費(消費支出)の推移

単位: 百万円

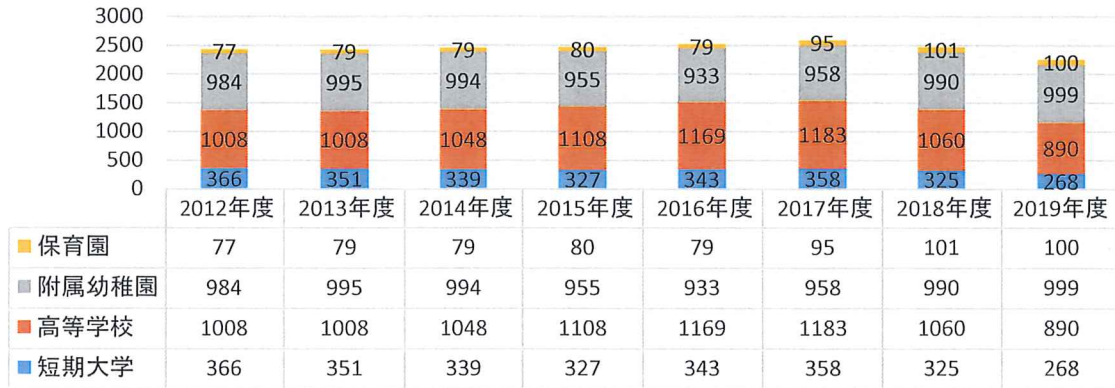




学生数の推移

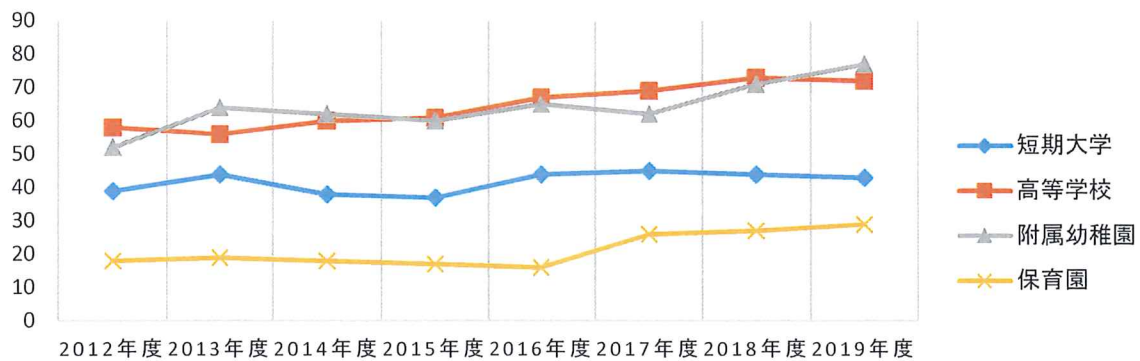
単位:人

■ 短期大学 ■ 高等学校 ■ 附属幼稚園 ■ 保育園



常勤教職員の推移

単位:人



◆◆主要財務諸表の比較表◆◆

単位: %

比率	算式(×100)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人件費比率	人件費÷事業活動収入	48.1	60.4	62.0	66.3
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金	124.5	134.9	149.5	193.1
教育研究経費支出率	教育研究費÷事業活動収入	18.6	25.3	21.0	22.0
管理経費支出率	管理経費÷事業活動収入	10.4	12.3	11.6	12.3
事業活動支出比率	事業活動支出÷事業活動収入	82.2	98.2	95.3	101.9

令和2年5月22日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園

理事長 浅井 祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下 山 隆 一 郎

監 事 木 寅 文 雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づく監査報告を行うため、学校法人湊川相野学園寄附行為第17条の規定に従い、令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び学園の業務、若しくは財産の状況、又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査を行うにあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財産目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務又は財産に関し不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認められました。